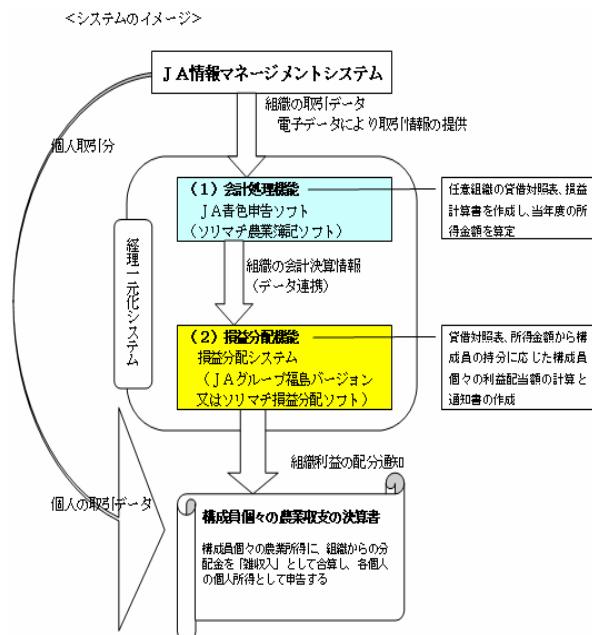


「JA情報マネージメント」を利用した集落営農経理一元化の概要

1 システムの概要

JAグループ福島では、品目横断的経営安定対策に加入した（する）任意組織の経理一元化の支援に向け、既存の事業系システムの「JA情報マネージメント」と、会計処理ソフトの「JA青色申告ソフト（他、ソリマチ農業簿記システム）」を利用し、更に、新たに開発した「損益分配システム（JAグループ福島バージョン（又はソリマチ損益分配ソフト）」の一連のシステム活用により、組織の決算と利益分配の計算を容易に行えるツールを用意いたしました。



(1) 会計処理機能

組織の会計処理は、日々の取引を「JA情報マネージメント」の電子データ（取引・仕訳データ、貯金出納帳データ）を取り込むことで、仕訳帳、現金出納帳（貯金出納帳）、買掛・売掛入力等が自動作成されます。この後、JA以外の取引等を入力し、決算処理を行います。

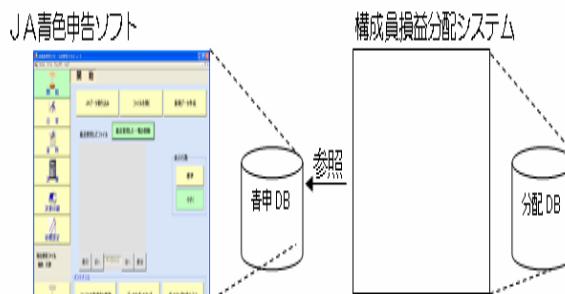
決算処理は、決算振替え、棚卸、減価償却計算、自家消費・按分等の入力処理を行い、決算書（貸借対照表・損益計算書）等を作成します。

これらは、JA青色申告ソフト（ソリマチ農業簿記ソフト）を利用して容易に行うことができます。

(2) 損益分配機能

損益分配を行うためには、ソフトに予め構成員の耕地や出資金などの基本情報を登録しておきます。そして、JA青色申告ソフトにより処理された決算情報のデータベース（電子データ）を呼び出し、その取引毎に損益分配の方法（構成員数割、農用地面積割、構成員指定、取引毎明細の4つ）を指定します。

この分配方法の指定に基づき、組織の決算処理後の損益を構成員へ分配処理し、損益分配通知書等（組織の決算書、個別の配分額（損益・消費税額等）の通知）を作成し、組織から構成員へ通知。構成員は各自、自分の農業経営にその配分額を合算し、個人課税として確定申告します。



JAグループ福島県域営農センター・福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

（福島市飯坂町平野字三枚長1-1 TEL 024-554-3072 Fax 024-554-6022）

http://www.fs-suishin.jp/04_doc/04_vision.htm

2 システム利用の前提

(1) システムの購入

集落営農組織またはJAが、「JA青色申告ソフト（JAが支援する場合は、複数組織の一括管理のための「JA青色申告ソフトJAバージョン」を準備）」及び「損益分配ソフト」を購入します。

(2) 組合員情報、貯金口座の保有

- ① 集落営農組織に代表組合員情報（組合員コード）を設け、組織としての普通貯金口座（以下「代表貯金口座」という）を開設します。
- ② 構成員毎に同名の組合員情報（以下「構成員情報」という）を設け、その組合員コードを集落営農組織における「構成員コード」として使用します。
- ③ 代表組合員情報および構成員情報毎に、購買品取引のための1つの「未収金口座」を開設します。

(3) JA情報マネジメントシステムの活用

- ① JA情報マネジメントの利用申込み
 ア 代表組合員情報を申告者として、各構成員を名寄者として申込みます。
 • 提供コード（組織代表コード）、抽出コード（組織代表コード・構成員コード）、提供方法、取引貯金口座指定等、基本事項の登録。
 イ 電子データ提供を希望する。
 • JA青色申告ソフト、損益分配システムとのデータ連携を図るため、複式簿記電子データ提供として申込登録します。

- ② 集落代表コード、集落構成員コードによる取引の実施

※集落営農組織として取扱い資材の範囲を予め定めておくと便利

本来(個人)の組合員コード	構成員	集落営農組織の組合員情報	代表貯金口座	購買	
				未収金種別	貯金決済口座
	代表	01-0203002 ○○集落営農組合	普1234567	01	普1234567
01-1000102	福島一郎	01-0203013 ○○集落営農組合		01	普1234567
01-1000203	郡山次郎	01-0203024 ○○集落営農組合		01	普1234567
01-1000304	白河三郎	01-0203035 ○○集落営農組合		01	普1234567

■ 申告者		※お申込みの場合は、太枠線内をご記入ください。								
〒 960-0XXX										
住 所	福島市～									
氏 名	○○集落営農組合									
組合員コード	0	1	—	0	2	0	3	0	0	2
1. 提供内容に○を付けてください。										
<input type="radio"/> 帳票 <input type="radio"/> 税務資料 <input type="radio"/> 電子データ										
2. 代金支払方法に○を付けてください。										
<input type="radio"/> 口座振替 <input type="radio"/> 現金										
3. 抽出コード（対象申告者にかかる名寄者）をご記入ください										
No.	組合員コード	氏 名								
1	01-0203013	○○集落営農組合								
2	01-0203024	○○集落営農組合								
3	01-0203035	○○集落営農組合								
4										
5										

III 集落営農一元経理の手順と実施方法

1. 事前準備

実施事項	実施主体	システム
●組織代表組合員コード登録・貯金口座の開設・購買未収金口座開設・米穀システム登録等（※構成員毎の管理を実施する場合は構成員毎に組合員コード等の登録・設定を実施する。）	J Aの各事業部門	JASTEM 及び各事業系システム

2. 集落営農の営農活動・事業活動（J A等との取引き）の実施

実施事項	実施主体	システム
(1) J Aとの取引 ●組織代表での農産物販売・購買品購入・信用取引等実施 ※構成員コード登録した場合は構成員別に生産物販売・購買品購入・信用取引の管理が可能→但し組織代表貯金口座で決済	J Aの各事業部門	各事業系システム
(2) 集落営農組織内部取引 ●集落営農組織と構成員間の取引（資金の入金・出金、出役・労務管理、作業受委託等）	・ J Aの信用部門、（資金の入・出金） ・ 集落営農担当者	・ JASTEM（信用取引） ・ 個別管理

3. 簿記帳の実施

実施事項	実施主体	システム
(1) J Aとの取引・集落営農組織と構成員間の代表貯金口座決済の取引（資金の入・出金、労賃や受委託料金受払い） ●組織代表での取引・構成員毎取引とも「J A情報マネージメントデータ」を簿記記帳（仕訳）データとして取り込み可能（J A情報マネージメントの利用申し込みが必要） ※集落営農組織と構成員間での代表貯金口座の入・出金は構成員別のデータの認識はできない（⇒損益分配で構成員指定）。	・集落営農担当者	J A情報マネージメント J A青色申告ソフト
(2) J A以外との取引等 ●J A青色申告ソフトへの仕訳データ入力が必要。	・集落営農担当者	J A青色申告ソフト
(3) 仕分けデータ修正 ●J A情報マネージメントから取り込んだ信用取引の仕訳データ等のうち修正が必要な項目について、適正勘定科目へ修正する（事業主勘定等の修正）。 ●組織所有の固定資産については固定資産台帳登録する。	・集落営農担当者	J A青色申告ソフト

4. 決算整理記帳・決算書作成

実施事項	実施主体	システム
(2) 決算整理記帳・決算書作成 ●原価償却、棚卸資産評価、経過勘定等決算入力し決算書作成	・集落営農担当者	J A青色申告ソフト

5. 損益分配

実施事項	実施主体	システム
●集落営農組織の損益及び課税売り上げ・課税仕入れ金額を構成員に分配し、分配勘定書を作成交付する。 ※構成員コード取引分はマネージメントデータで自動分割済。	・集落営農担当者	損益分配システム

「双葉地域農用地利用改善団体連絡協議会」設立！

日時：平成 19 年 9 月 4 日

場所：JA ふたば南部営農センター



J A ふたば代表理事組合長 志賀秀榮

○双葉地域農用地利用改善団体連絡協議会が設立

去る 9 月 4 日、管内 19 の農用地利用改善団体代表者と関係者が出席し、双葉地域農用地利用改善団体連絡協議会設立総会が開催されました。

この連絡協議会は、平成 18 年度末に管内関係機関・団体で構成される双葉地域集落営農推進協議会で提案され、各集落の実状にあった集落営農の実戦に向か、集落営農組織の活動や運営方法についての情報提供及び農用地利用改善団体相互の意見交換が必要であるとの見方が強まり、連絡協議会設立に向けた協議が重ねられてきました。

設立総会では、「双葉地域の各農用地利用改善団体が、昨今の農業を取り巻く厳しい現状を開拓すべく、活発な組織活動を行う」ことを目的として活動していくことで、連絡協議会設立について承認されました。

会長には浪江町立野営農組合代表の山田四郎氏が選任され、「この連絡協議会が単に関係機関・団体及び各集落営農組織代表者の連絡的な組織としてだけではな

く、農業の未来につながる活動について、皆一体となって本気で考えていくための場として活動を行っていきたい」との力強い御挨拶を頂きました。

ふたば農業協同組合としても、これまで、管内 8 町村ごとに担当職員を配置し、集落営農の推進を行って参りましたが、この連絡協議会事務局としての活動を含め、各集落営農組織が主体的に活動、運営が行われるよう関係機関との連携を図りながら積極的な支援を行って参ります。

総会終了後には、JA 福島中央会技術常任参与永石正泰氏から、全国の集落営農及び品目横断的経営安定対策の加入状況、米を取り巻く情勢等について御講演を頂き、出席者の今後の活動の足がかりとなりました。

○役員紹介（敬称略）

会 長 山田四郎（浪江町立野営農組合）

副会長 芳賀吉幸（広野町上浅見川営農組合）

木幡敏郎（双葉町下羽鳥営農組合）

監 事 山田文夫（富岡町大原農事研究会）

廣嶋公治（大熊町熊川区営農組合）

委 員 猪狩昭吉（楢葉町下繁岡営農改善組合）

志賀泰三（川内村第七区集落農用地利用調整組合）

松本忠光（葛尾村かつらお地区営農改善組合）

